

第7回 防衛施設整備に関する有識者会議  
議 事 概 要

1 日時等

- (1) 日 時：令和4年8月1日（月）13時30分～15時15分
- (2) 場 所：防衛省庁舎A棟17階 大会議室
- (3) 出席者：

【委 員】

- 藤井 聡 （京都大学大学院工学研究科教授） [会長]
- 上野 武 （千葉大学名誉教授） [会長代理]
- 谷口 綾子 （筑波大学大学院システム情報工学研究科教授）
- 成田 一郎 （(公社)日本ファシリティマネジメント協会専務理事）
- 横田 弘 （北海道大学名誉教授）

【防衛省】

大臣官房施設監、施設計画課長、施設整備官（オンライン参加）、  
提供施設計画官、施設技術管理官、施設政策室長、契約制度企画室長、  
防護施設研究室長

2 議 題

強くしなやかな防衛施設の実現に向けて

3 議事概要

施設の強靱化整備方針について、防衛省から説明した後、討議を実施

4 討議概要

(委員) 建物の長期修繕計画において、特に今後の計画が非常に重要。予算措置し、計画的に実施する必要がある。また、一部の老朽建物では日常的な保守点検や補修が出来ていない状況が見受けられる。日常的な予防保全の必要性をアピールしていく事が必要。

(防衛) 個別の建物の中長期的な修繕計画を立て、必要な予算を確保し、長寿

命化を図っていく。また、予防保全や必要な改修、建替えも含め抜本的に実施していきたい。

(委員) 施設整備の優先順位については、まず基地、施設の役割機能を明確にし、その後、機能維持のコストを考えると良い。

(委員) 武力攻撃、災害、老朽化、さまざま外力に負けない施設を作ることが必要である。

(防衛) 各施設に何が求められているのかを把握した上で、施設の強靱化を図るため、しっかり議論していきたい。

(委員) 今後の事業の執行については、PFIやPPPも効率的な発注方法ではないか。例えば、隊舎を集約する、福利厚生食堂や物販などをまとめるなど、検討の余地はあるのではないか。

(委員) 国立大学の学生寮でPFIの事例が複数ある。防衛省であれば、隊舎でPFIを導入できるのではないか。

(防衛) PFI・PPPについては、なかなか進んでいない状況であるが、これは自衛隊施設の特徴として、セキュリティの観点や有事の際の運用等による制限に起因すると考えており、今後、基地・駐屯地の全体像を踏まえ、ゾーニングを図るなど計画的に事業を実施することにより打開できるのではないかと考えている。

(委員) 防衛施設の整備方針については、その基地の重要性等を加味するなど、通常ファシリティマネジメントとは全く違う評価軸が入ってくる。これはファシリティの問題ではなく、防衛上の問題となる。駐屯地などの建物に不具合が生じ、自衛隊の持っている能力が十分に発揮することができなければ、防衛上大きな損失である。

(防衛) 個々の建物の機能を整理することで、建物の機能損失による自衛隊の運用への影響がより明確になると考えている。引き続き、作業していきたい。

以上